

しゃきょう

No.154 2026

社会福祉法人 大磯町社会福祉協議会

〒255-0003

大磯町大磯1352番地の1

大磯町立福祉センター「さざれ石」内

電話 0463-61-9390

FAX 0463-61-7614

URL <https://www.oiso-shakyo.jp/>

しゃきょう
「社協」とは、社会福祉協議会の略です。

おいそ



世代を超えて、笑顔が重なる

「さざれ石」に響く、元気なこどもの声

園児たちの無邪気な笑顔と、おじいちゃん・おばあちゃんの温かい眼差し。

世代を超えて心が通い合う、大磯の温かな日常がここにあります。

デイサービス (さざれ石) のご利用者・スタッフ募集中

介護保険のサービスを提供しています。

- ・入浴：車いすの方もゆったり安心できる設備
 - ・機能訓練：身体状況に応じた機能訓練を実施
 - ・送迎：ご自宅の玄関まで安心安全のお迎え
- ※お気軽に見学・ご相談にお越しください！

【開所】月～金曜日 (9:25～16:30)

TEL：0463-61-9390

※週2日から3日程度のスタッフを募集 (資格：不問) しています。短時間での勤務もお気軽にご相談ください。



機能訓練

地域の「つながり」を社協が応援します！

～顔の見える関係が、大磯の安心を支えています～

笑顔と尺八の音色が響く場所。寺坂地区「お茶会」に潜入！

毎月一回、にぎやかな笑い声が聞こえる寺坂老人憩の家。織戸民生委員児童委員が自治会の協力を得てお茶会を開いている、温かい交流の場です。

毎回10名ほどが集まり、「最近どう？」とお茶を片手におしゃべり。お互いの顔を見て元気を確かめ合える、大切な時間になっています。

1月にはボランティアの熊本さんによる尺八の生演奏もあり、懐かしいメロディに合わせてみんなで大合唱し、会場が一つになりました。



寺坂地区のような「楽しい集まり」を、
あなたのお仲間と一緒に。
「今ある集まり」も「これから始める
集まり」も！新助成金スタート

皆さんの集まりを応援する、身近な助成金が誕生しました。新しく作るグループはもちろん、すでに活動している「いつもの集まり（既存の団体）」も大歓迎で対象になります！

助成の概要

対象団体：40歳以上の町民が半数以上を占める、5名以上のグループ。

対象活動：茶話会、趣味の集いなど、月1回（概ね2時間）以上の定期的な活動。

助成金額（年額）：活動頻度に応じて、以下の金額を交付します。

月1回：10,000円 月2回：20,000円

月3回以上：30,000円

申請期限：令和8年7月31日（金）

活用例

会場借上料、お茶・お菓子代、コピー代、ボランティアへの謝礼などにご活用いただけます。

まずはお気軽にご相談ください

「うちの集まりも対象になる？」といったご質問から、新しい居場所づくりのアイデアまで、社協の職員が皆さんの想いを形にするお手伝いをいたします。

大磯町社会福祉協議会 ☎0463-61-9390

皆さまの温かい善意に
感謝いたします

令和7年12月1日から令和8年5月31日までに、大磯町社協にいただいたご寄付を紹介いたします。

地域の福祉活動のために大切に使用させていただきます。心よりお礼申し上げます。

♥寄付金♥

西湘地域労働者福祉協議会 様
100,000円



私たちのまちの「ふくし」を前へ。

令和8年度 事業計画と予算のご報告

大磯町社協は、町民の皆さまからの大切な会費や募金、補助金などを活用し、皆さまと一緒に誰もが安心して暮らせる町づくりを進めています。今年度は特に、以下の「4つの柱」に力を注いでまいります。



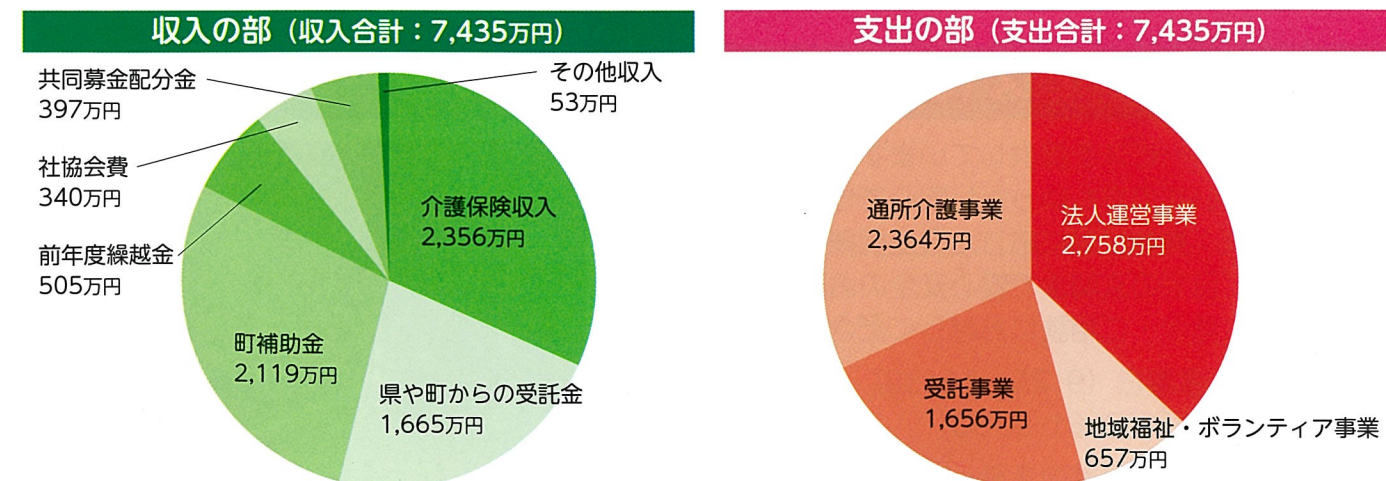
令和8年度 大磯町社協が取り組む4つのこと

現状の課題	今年度の取り組み
① 地域の活動を元気にしたい ボランティアの担い手が不足し、活動を終了する団体が増えています。	① 地域の皆さんと一緒に動きます 職員が地域活動や地域福祉推進委員会に積極的に参加し、課題と一緒に解決します。
② デイサービスを盛上げたい 利用者が減少傾向にあります。事業継続のため、より一層の増員が必要です。	② 楽しく過ごせる新しいメニューを開始 園児との交流（1面参照）や書道・麻雀など、ワクワクする時間を工夫します。
③ 災害時の備えを強化したい 令和6年度の大雨被害を踏まえ、万が一の際の運営体制を万全にします。	③ 災害ボランティアセンターの訓練 「災害救援ボランティアの会」と連携し、平时的からの合同研修・訓練を重ねます。
④ 財源をしっかりと確保したい 会費や募金が年々減少。福祉基金も取り崩しにより残高が少なめです。	④ より安定した事業の運営に向けて 行政からの受託事業を注視し、新たな財源確保や事業拡大を検討します。

今後の取り組み：一体的な計画づくり（令和9年度に向けて）

令和10年度にスタートする「次期地域福祉活動計画」の策定に向けて、行政の計画と一体となって進める準備を行います。

予算の使いみち



皆さまからの大切な会費や共同募金は、大磯町の福祉活動へ大切に活用されています。



夏休みの福祉&防災イベント特集



夏休みの福祉体験学習

障がいへの理解を深め、支え合う地域を築くために、下記の体験学習を開催します。

① 親子手話体験教室

【日時】 8月3日(月) 午前10時～正午

【定員】 20名

【場所】 福祉センターさざれ石2階



② 視覚障がい者(板橋憲次郎氏)の日常生活を学ぶ教室

【日時】 8月3日(月) 午後1時30分～3時30分

【定員】 50名

【場所】 福祉センターさざれ石2階

※盲導犬の誘導体験もできます。大人の方の参加も大歓迎です。



③ 車いすバスケットボール体験教室

【日時】 7月31日(金) 10時～11時30分

【定員】 15名

【場所】 町立国府小学校 体育館



申込受付 7月27日(月) まで

☎ お申込みは社協事務局まで。(TEL.61-9390又は二次元コード)

防災講演会

～富士山噴火と火山灰について～

【日時】 令和8年9月12日(土) 10時～正午

【場所】 福祉センターさざれ石2階
レクリエーション室

【講師】 笠間 友博 氏(地質学者)

【参加費】 無料



わが家の防災 夏休みファミリー企画

～災害から身を守る知恵体験しよう～

【日時】 令和8年8月30日(日) 9時30分～正午

【場所】 大磯町役場保健センター2階

【参加費】 無料

【その他】 こどもを中心に大人も楽しめるので、
家族みなさんでご参加ください

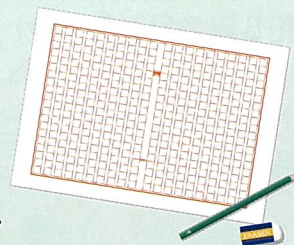
☎ お問合せ：小島 (TEL.090-9376-4133)

第49回 神奈川県福祉作文コンクール 募集

子どもたちが福祉について日常生活を通じて感じたこと、考えていること、体験したことについての作文を募集します。

＜例＞・障がいのある方々との交流やお年寄りとのふれあい

- ・地域、学校、家庭での体験
- ・福祉施設入所の方々との交流
- ・福祉に関するボランティア活動
- ・赤い羽根共同募金の活動に参加して感じたこと…等々



◆応募対象 神奈川県内の小学校・中学校に通う児童・生徒

◆作文の題名 自由です

◆文字数(枚数) 小学生：B4判 400字詰め原稿用紙 800字以内
中学生：A4判 400字詰め原稿用紙 1,800字以内

◆表彰 大磯町社会福祉大会にて、入賞者には賞状と図書券を贈呈します。

